

## 第16回農業農村整備事業成果発表会 講評

(平成31年1月28日(月) 福島県農業総合センター)

農村振興課・大久保進一

### ○全体を通して

業務多忙なところ、今回の成果発表に取り組んでいただいた発表者とその職場の皆様、また発表会の準備・運営に携わった関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

今回の発表会では、各農林事務所農村整備部からは1件ずつの7件、農村整備総室と農業センターからはそれぞれ1件の合計9件の事業成果等に関する発表がありました。

全体を通して、いずれの発表も現場で直面する課題などの解決に向けた検討経過と対策等がよくまとめられており、ほかの現場でも活用・応用が期待できる成果・内容となっていると思います。

また、発表会においては、プロジェクターの不具合から画面の一部が切れたり、パワーポイントのアニメーション機能が使えない等のアクシデントがありましたが、与えられた時間を有効に使って、ポイントを押さえた分かり易いプレゼンテーションであったと感じました。

若い技術者の皆さんにとっては、今回発表するために自分たちが担当する事業や工事、業務等の内容をレポートとしてまとめることによって、新たに気づくことがあったり、更なる技術力向上に向けた意欲などが湧いたことと思います。また、同世代の技術者の発表を聞いた参加者にとっても、自分の業務や現場を見直すよいきっかけになったことと思います。

発表事例の中には、他の工法との比較検討や、今後、経年変化等を確認するためのデータの収集・蓄積、考察や効果検証などが期待されるものもあり、引き続き内容や取り組み等のバージョンアップやレベルアップを目指していただきたいと思います。

### ○個別講評

#### ・発表1「狭小地での大型ボックスカルバートの施工について（西郷南部Ⅱ期地区）」

宅地に挟まれた区間の水路整備にあたり、大型ボックスカルバートの据え付けにハング式のリフトローラー工法を採用した事例の紹介です。

施工機械の選定は工事を円滑に進める上で重要なポイントのひとつであり、今回の事例は、特に施工条件が制約される現場において参考になるものと思います。

工事が完了した際は、実際の施工状況とあわせて今回の施工箇所における特徴的な事項等についても、情報提供をお願いします。

・**発表2「狭小な水路トンネル補修事例について（新安積地区）」**

安積疏水・白江幹線用水路における水路トンネル部の補修を行う際、施工時期が限定されることなどから、SPR工法（管渠更生工法の一つ）を採用した事例です。

当該工法は水路トンネルの補修工以外にもため池底樋の改修工事などにも採用されており、今回の事例は、今後さまざまな管水路の補修工事の設計・施工にあたって、他の工法と比較検討する際に参考になると思います。

・**発表3「ため池改修工事におけるプレキャスト底樋管の使用について」**

喜多方市のため池において老朽化した底樋管を改修するにあたって、プレキャスト製品を採用することにより、工期を大幅に短縮した事例です。

製品の接合部に挿入するジョイントシールゴムの止水性能試験や、現場打ちコンクリートの止水壁部に採用した水膨潤ゴムに関する詳しい説明もあり、他の地区で採用を検討する際に、大いに参考となる発表内容でした。

・**発表4「工事中の騒音・振動による乳牛への影響調査」**

牛舎が近接するため池の改修工事において、工事に伴う騒音・振動を計測し、作業時の注意喚起を図る警告灯を設置して工事を進めるとともに、乳牛に対する影響（産乳量の減少など）の有無を調査した事例です。

法令等による規制の確認に加えて施工前データ収集などの事前調査と関係者間の連携・調整の重要性が強調された内容となっており、工事に伴い損失補償が懸念される現場においては、大変参考となる事例であると思います。

・**発表5「針生堰の設計と施工」**

南会津町における頭首工（コンクリート固定堰）の整備にあたって、施工可能期間が限られる中、工事車両の進入路確保や現場発生材（転石）を護岸工に流用するなどの工夫を行って工事を完成させた事例です。

今回、堰の堤冠部に摩耗防止を目的として設置したラバースチールに関しては、長期使用時における耐久性の検証や堰本体の健全度評価のため、継続的な現地確認等の対応を検討願います。

・**発表6「第1回「田んぼの学校・畑の学校」合同成果発表会から見た成果と課題」**

県内各地で「ふくしまの農育」推進事業を活用した農作業の体験活動を行っている小学生が、合同で行った成果発表会に関する報告です。

今回の新たな取り組みにより、他校の活動状況等を知り疑問や感想などを持つことで、農業や農村・自然・食に対する興味や理解がさらに深まるきっかけとなったようです。なお、より効果的な活動となるよう、参加した学校関係者からの意見や要望等を踏まえて、会場や発表形式・時間等の工夫を期待します。

・**発表7「安全な維持管理作業を目指した整備（夏井川左岸地区の事例）」**

基幹水利施設ストックマネジメント事業により幹線用水路（開水路）の補修を行う際に、管理者からの要望を踏まえ、水路底盤の表面被覆工に珪砂を混入し滑りにくくすることにより、管理作業時の安全性を確保した事例です。

前年度施工箇所の現地踏査等から、通水機能を保持したまま所期の効果が発揮されていることが確認されています。今後は、表面被覆工の経年変化を踏まえた効果発現期間の評価や他工法との比較等の情報提供を期待しています。

・**発表8「津波被災農地のフォアス導入の取組み」**

東日本大震災で津波被害等を受けた南相馬市鹿島区において、大区画ほ場整備にあわせて水田の高度利用化を図るためにフォアス（地下水位制御システム）の導入に取り組んでいる事例です。

地権者から本システムに対する大きな期待が寄せられる中、実際の導入と着工に向けて、耕作予定者等に対して操作・管理方法などに関する丁寧な説明を行い、地域の実情に合った導入基準（条件）を策定することにより、地域営農の体制強化につながる取組みとなっているようです。

今後の展開等に関しても、こうした発表会などを通じて多くの関係者に対して情報発信されていくことを期待します。

・**発表9「小規模農道橋を安全に使用するための点検方法」**

小規模な農道橋の適正な維持管理に資するため、点検用チェックシートを作成し、複数年にわたってその有効性の検証を踏まえた修正・改良を重ねるなど、日常点検の効率化・省力化に向けた研究成果の紹介です。

市町村等の農道管理者が施設点検を行う際に、本チェックシート及びその手引きが広く活用され、効果的・効率的な管理に貢献するものとなることを期待します。

(2019/2/4)